6/3 　議事録

今日決めること

・理解度記録の処理をどうするか

・各機能のイメージをすり合わせる

　 処理内容は要件定義所どおりでよいか

・全体のページの流れ

・外部設計

・ファイル管理をどうするか

・用語のすり合わせ（生徒？受講者？等）

・ボタンの押した回数によって理解度を図るのか

・その日の終わりに理解度を記録するのか

→TERACO と同じなのでは？

・記録機能自体は入れなくてもよいかもしれない

・プロフィールと理解度が独立しているのではなく、

連携して同時に確認できるといいと思う。

→ 講義の各項目ごとに分けて見れるようにするのか？

→ プロフィールページのどこかしらを押したらその人の理解度ページに飛ばすのか？

理解度ボタンは、

現段階では、講師側がトピックを更新できる

それに対して何時から何時までやっているかの情報などの詳細設定

トピック切り替えボタンによって理解度を保存するか

回数と反応ボタンを時間で測る

画面を表示させた状態で

まず、理解度は記録するのか

決定事項：回数と反応ボタンを押した時間で理解度を図る

TERACOで理解度は保存できるから、記録しなくてよい

ボタン押した回数の記録は累計はプロフィールに含めるのか

日別で、今日は何回わからないを押したか

過去の記録は記録を残さないが、今日だけの記録を残す

毎日のデータが増え続けて、あとから参照するのが大変

チームでの決定事項

　各自バックアップを必ず行う

　議事録はみんなで作成する（一人一人色を決めることで質問しやすくなる）

項目をつけて、

Arrayリストにれる？

・各機能のイメージをすり合わせる

→各機能の処理内容は要件定義書どおりでよいか？

受講者で統一

・次決めること

画面全体はどうするか

データベースはどうするか

外部設計とは

• システムの「見た目」など、外から見た部分

• 利用者から見える部分はほとんどが外部

・画面全体

・ボタンの位置

・ボタンを押すとどうなるのか

・ログイン画面を講師側と受講者側で分ける

・講師はただログインできるだけ

・受講者は初めての方専用

・IDをPWをあらかじめ用意しておく？

ログインは、講師と受講生で分ける

外部設計書、DB定義書、外部設計書で分けて作業を行う

講師側が検索すると、クラス別に見れるようにする？

受講者プロフィールにクラスだけ追加しておいて、あとで講師と紐づけるかは決める

Githubドキュメントを送りあうのは大変なので、メールアドレスをもらってonedriveで共有する

ログイン画面の前に講師か受講者か選ぶページ

講師

ログイン画面

・アカウントでログインするか新規登録する。

新規登録画面

IDとパスワード、担当クラスを設定

メインメニュー

・ログイン画面orログインIDに応じてどっちのメニューに来るか決まる。

・講師側にリアクションボタンの音声が流れる

・理解度ボタンの集計結果も表示される

・プッシュ通知に音を組み込む

・受講生一覧ボタンを入れる

・ログアウトボタンを入れる

・リアクションは講師にだけ見えるようにする

プロフィール画面

・リストで表示する

・検索機能もつける

・削除が行えるようにする　消す前にしっかりチェック

受講者

ログイン画面

・アカウントでログインするか新規登録する。

新規登録画面

・受講者の場合は登録時にプロフィールも入れられる。

メインメニュー

・ログイン画面orログインIDに応じてどっちのメニューに来るか決まる。

・わかる/わからないボタンとそれ以外の反応ボタンを並べる

・プロフィール編集ボタンを入れる

・ログアウトボタンを入れる

プロフィール画面

・プロフィールの表示だけ

・編集ボタン

プロフィール編集

・直接打ち込んで編集が行える

その他

リザルトページ

・ログイン失敗時

・登録失敗時

・編集失敗時

〇話し合いの内容

・ログイン後の画面がイメージできたらやりやすい

・理解度報告の部分を決めてレビューしてもらう

・理解度報告のイメージができていない

・ボタンを押した回数で理解度を図る

・ボタンに項目を作って当てはめて理解度を図る

・ボタンが押された都度記録して更新する

・1日の終わりに理解度を記録するのはTERACOと同じ

・理解度に記録をそんなにいれなくてもいい

・TERACOとかぶらないようにボタンとして回数だけで理解度を図る

・理解度記録や全体のページの流れを決めておきたい

・GitHubの使い方

・ファイル管理をどうするか

・受講者、生徒、用語のすり合わせ

・システムの流れ

・理解度は複雑にしない

・後から更新するのはわかった、わからないボタン

・この時間の理解度がわかる

・回数押したタイミングの時間で知る

・反応したボタンを押した時間帯

・ボタン押した回数の記録

・プロフィールに紐づける

・過去の理解度の変更はできない

・ボタンを押した回数をプロフィールに記録する

・今日の分だけ記録する

・毎日の分別で記録する

・毎日のデータは増える

・各機能の処理内容は要件定義通りでいいのか

・用語は受講者で統一

・画面全体をどう作るか

・データベースの設定などどれくらい必要になるか

・まず機能一覧表を作る

・理解度を生かしたページをどうつくるか

・新しい機能追加だと統一感がなくなる

・IDとパスワードは1つにまとめた方がいい

・ログイン画面を講師と受講者で分けた方がいい

・初めの時点で分けて講師を押したら講師のログインページ

・ログイン画面は同じで講師にあらかじめIDを用意しておいてもいい

・ボタンを押した回数をプロフィールに保存

・名刺管理アプリの機能を有効活用

・機能一覧作成

・人数過多なら、DB定義書作成

・外部設計書作成

・ボタンについて、最初は二つ

・講師用と受講者用

・ログインページ

・新規登録ページ

・失敗したときのresultページ

・ログイン後のページ

・各プロフィールの表示

・簡単に表示

・反応ボタンがあるシンプルなページ

・一番下にずっとボタン表示

・メインページに大きくボタン

・他では下にボタン

・メインメニューはシンプル

・受講者がボタン押せればいい

・わかった、わからない、その他ボタンの簡単なページ

・ログアウトは端に置く

・プロフィールの登録ページ

・講師側に受講者の反応が見られるメインページを最初に置く

・受講者側からほかの受講者の反応を見られなくていい

・音が流れるなら、音声でわかる

・講師側に音が流れるようにすればいい

・メインメニューでは講師側に音声が勝手に流れている

・プッシュ通知に音を組み込むみたいな

・ログインの前に講師か選択

・上にタブをつけて切り替えるのは難しそう

・ログイン別のページにする

・最初に選択するページをつくる

・講師側からのみプロフィールを消せる

・講師と受講者で分けた方がいい

・受講者がプロフィールを消せない

・編集ボタンがあったら便利

・受講者が編集できる

・始めの登録と編集とリアクションボタンさえ押せればいい